

令和 2 年度 (2020 年度)

定 例 総 会 資 料

令和 2 年 4 月 26 日

青 木 平 区

(注 意 事 項)

- 1) この定例総会資料は、会員の個人情報を含んでいるので、適切に管理してください。
- 2) この資料を会員以外に貸与し、またはコピー等には使用しないでください。
- 3) この資料を廃棄する際はシュレッダー等で裁断するなど、適正に処理してください。

令和 2 年 4 月 26 日

青木平区民各位

青木平区 区長 武井信夫

令和 2 年度 (2020 年度) 定例総会開催のご案内

拝啓、区民の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は青木平区自治会活動にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、令和 2 年度 青木平区定例総会開催につきまして下記の通りご案内申し上げます。

なお、何ぶんにも会場が手狭でございますので、誠に申し訳ございませんが、なるべく『議決権行使書』にて議決権を行使下さいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

敬具

記

日時 令和 2 年 4 月 26 日 (日) 午後 2 時より

1. 場所 青木平区民館
2. 持参品 **本総会資料をご持参下さい**
3. 総会次第
 - (1) 開会の辞
 - (2) 議長選出
 - (3) 議決事項
 - 第 1 号議案 2019 年度 事業報告及び収支決算報告書について
 - 第 2 号議案 2020 年度 役員改選について
 - 第 3 号議案 2020 年度 事業計画及び収支予算について
 - (4) 新役員紹介
 - (5) 区長挨拶
 - (6) その他一般質問
 - (7) 閉会の辞

以上

第 1 号議案

令和元年度（2019 年度） 事業報告及び決算報告

令和元年度（2019 年度） 事業報告

日本全体が少子高齢化に直面する中、社会福祉関連事業の充実が叫ばれている昨今、地域の助け合い、支え合いの基盤となるのが自治会組織であることは言うまでもありません。私たちを取り巻く社会環境の変化と共に、自治会のあり方も少しずつ変化していくこととなります。

『自治会とは何か？』を改めて問い、見つめ直してみると『区民の、区民による区民のための組織』であることに気づきます。自分たちが住む地域の生活環境や安全、安心をみんなで考え、実現するために共に力を合わせ、協力し合うことができる組織であり、地道な活動と経験を積み重ねることにより成長していくことができる共助の組織であるとも言えます。

そのためにも、組織として何処^{どこ}に向かっているのかを示すためにも将来ビジョンを掲げることは大変重要です。『青木平区の将来ビジョン』を羅針盤とし、自治会組織の進むべき方向や、目標を定めていくことです。目標が定めれば具体的な活動が生まれ継続されることとなります。

2019 年度の事業計画は、この将来ビジョンの実現に向けた具体的な取り組みの一環として掲げられました。この事業計画に対する進捗を以下の項目に従いご報告申し上げます。

青木平の将来ビジョン

= 20 年後もこんな青木平区であって欲しい =
自治会としての目指すべき方向性と活動指針

- ◆ 自然豊かで『きれいな住宅地！』住んでみたい地区でありたい。
- ◆ 若者が楽しく安心して暮らせる地区でありたい。
- ◆ 高齢者が生きいき、楽しく暮らせる地区でありたい。
- ◆ 助け合い、協力しあえる優しい人達の地区でありたい。

1. 富士宮市との連携による移住・定住事業の推進について

人口減少を防止することは出来ませんが、減少数を抑える事は可能です。2019 年 4 月から 2020 年 3 月までの 1 年間で、青木平区へ移住定住された世帯は **8 世帯**となります。2018 年 4 月から 2020 年 3 月までの 2 年間では **17 世帯の増加**となっています。

このことは、インターネットを活用した青木平区のホームページの活用をはじめ、『きれいな青木平』、『住んでみたくなるような青木平』を合い言葉に取り組みられた区民による環境維持活動および富士宮市の地域政策推進室との連携による一連の活動の成果であるとも言えます。

引き続き、新たな入居者を迎えられるよう全国に青木平区の情報発信を推進していきます。

2. 『見守り活動』の啓蒙推進と『認知症サポーター養成講座』の受講推進について

高齢者の『見守り』活動は、民生委員と自治会役員（副区長、町内会長）とが定期的に家庭訪問を行うなど、青木平区では他の地区にはない『見守り』活動が展開されています。

また、『見守り活動』の目的と、その必要性について青木平区の将来像を示しつつ、全ての班の班会議に区長が出席し説明を行うことで、住民との情報共有を深めてきました。

青木平区では周囲が自然な距離感でそつと見守る『近隣見守りサポート方式』を推進しています。ご近所同士のつながりも大切です。班内で情報を共有し、無理の無い範囲で『見守る』ことができれば小さな変化や異変を察知することが可能となります。

高齢者の増加と共に益々『見守り』活動の重要性が増し、さらに今後は地域で支える認知症のサポート体制も必要となってきます。まずは、『お互いさま』の精神で正しい知識を一人ひとりが身につけて行くことから始まります。

2019年度は、初めて自治会役員を中心に『認知症サポーター養成講座』を受講しました。参加者は22人でした。この取り組みを継続して行くことで、認知症に対する基礎知識を身につけた人達が増え、お互いに支え合うことができる地区づくりへの新たな取り組みへの礎^{いしすえ}となることが期待できます。

3. 防災対策の推進・強化について

2019年度は4つの課題を方針に掲げ防災関連の取り組みを展開して参りました。大きな取り組みの一つとして『家庭内防災対策実態アンケート調査』があります。みなさんのご協力によりアンケートの回収率も80%に達する事が出来ました。

今回の調査により各ご家庭における防災対策の実態がある程度明らかとなりました。家具の転倒防止（76.9%）、食料、水の備蓄などの対策を実施しているご家庭の割合が約90%となりました。更に家庭内防災対策の充実を訴えていくことが必要と考えます。『自分の命は自分で守る』事を前提とした『在宅避難』への関心と、大規模災害に対する準備を日頃から心がけていく事が必要です。

また、大規模災害が発生した時の一時仮避難所として認定こども園青木リズムとの相互協力に関する覚書を締結することができました。

更に、大規模災害発生を想定した準備として、『青木平区会員住民台帳』の整備を計画していましたが、今年度も未達となってしまいました。2020年度こそ、安否確認を迅速、かつ適確に行える準備を整えて行きます。

『夜間防災避難訓練』の実施につきましては昨年の10月6日に行われ、停電、月が見えない闇夜の状態をイメージし、避難経路の確認や、ソーラ電源LED照明ライトの取付等の要

否を役員および防災委員で確認しました。この結果を基に、今後の防災対策につなげていきます。

4. 定例班会議の開催の推進（年4回：5月、8月、11月、2月）について

班会議の定期的な開催を推進し、早3年が経過しようとしています。青木平区に住む区民のみなさんのコミュニケーションの向上を目的とした取り組みの一つとして取り上げています。

この間、定期的に班会議を開催する班も増え、徐々にではありますが定着しつつあります。班会議は、最小単位の地域コミュニケーションの場です。同じ地域に住む人々が、助け合い、協力し合える唯一のコミュニティと言えます。

少子高齢化社会を迎え、青木平区も同様に高齢化がますます進行していきます。向こう三軒両隣への気配りや、目配りが大切となる時期を迎えています。青木平区では周囲が自然な距離間でそっと見守る『近隣見守りサポート』を提唱しています。

この活動の基盤が班であり、情報交換の場として班会議が重要な役割を果たします。そして、班会議のあり方も居住環境の変化に応じ、変えていかなくてはなりません。過去の慣習や、事例にとらわれず、一人ひとりの発言を尊重し、優しい気持ちで意見交換ができる場へと成長させることが大切です。

その主役はみなさん一人ひとりであることは言うまでもありません。今後ともご理解、ご協力をお願い致します。

5. 施設・備品等について

(1) 区民館の外装リフォームについて

青木平区の区民館は既に築33年が経過し、屋根および外壁の劣化が見受けられるようになりました。今後も長く使い続ける処置として富士宮市の補助金制度を利用し、計画通り屋根を含む外装塗装を行いました。

(2) 有効期限切れ消火器の入れ替え実施

昨年度実施した消火器の有効期限調査で、期限切れ消火器が5本ありましたので交換を行いました。

(3) 区民館にLED照明の設置

昨年度に引き続き、第1集積所方向を照らすLED照明を区民館取り付け、足下が真っ暗となってしまう夜間の区民館利用者の安全確保に役立てました。

6. 区外活動について

富丘地区7区における多くの活動に参加いたしました。富丘地区の活動は、富丘公民館関連、富丘地区区長会関連、富丘支部合同敬老祝賀会関連、富丘地区福祉協議会関連、富丘小学校及び富士宮四中関連等、多方面にわたりました。

7. 令和元年度（2019年度）の主な活動

(1) 区内定例会議及び行事

- 執行委員会 12 回開催
- 役員会 12 回開催
(第 6 回 9 月定例役員・防災委員会は台風 15 号の影響により中止しました。)
- 防災委員会 7 回開催
- 自主防災会専門部会会議 各部随時開催
- 中央公園清掃（各班持回り） 原則月 1 回実施
- 防災機材操作（防災委員 4 グループ持回り） 原則月 1 回実施
- 寄り合い処 12 回開催
- 青木平夏祭り
- 子供と楽しく遊ぶ日
- 『認知症サポーター養成講座』の受講
- どんど焼き

(2) 富士宮市委嘱委員活動及び富丘地区社会福祉協議会委員活動（6名）

- 民生・児童委員活動 高齢者の安否確認及び生活福祉相談活動等
- 環境美化推進委員活動 ルール違反ゴミ、不法投棄物の監視及び報告
- 青少年指導委員活動 青少年の非行防止活動の推進及び、見回り活動
- 体育委員活動 富丘まつり 子供担当、グラウンド・ゴルフ大会
- 保健委員活動 富丘まつり 健康チェック、三世代ウォーキング
- 地域代表活動 富丘まつり 企画委員

8. 令和元年度（2019年度） 区長の主な対外活動

(日 程)	(曜日)	(活動内容)
5 月 17 日	(金)	富丘支部合同敬老祝賀会実行委員会
21 日	(火)	富丘地区社会福祉協議会総会
23 日	(木)	富士宮市区長総会 環境自治推進協議会総会
25 日	(土)	富丘小学校運動会
6 月 05 日	(水)	第 5 回市民懇話会
10 日	(月)	災害時地域リーダー研修会
13 日	(木)	富丘支部合同敬老祝賀会実行委員会
20 日	(木)	富士宮第四中学校地域連携会議

29日(土)	日本赤十字・社会福祉協議会合同大会
7月03日(水)	『コミュニティ活動集団』発表会
07日(日)	福祉のつどい
11日(木)	富丘支部合同敬老祝賀会実行委員会
31日(火)	生活支援体制整備事業フォーラムフォローアップ研修
8月07日(水)	富丘支部区長及びサークル連絡会役員合同会議
09日(金)	富士宮市区長研修会
20日(火)	富丘支部合同敬老祝賀会実行委員会
9月04日(水)	富丘支部合同敬老祝賀会実行委員会
14日(土)	富丘支部合同敬老祝賀会
28日(土)	富士宮第四中学校大運動会
10月04日(金)	静岡県コミュニティづくり推進協議会視察訪問
10月23日(水)	区長会・環自協視察研修
24日(木)	々
25日(金)	第40回富丘まつり祭典委員全体会議
11月10日(日)	第40回富丘まつり
16日(土)	富丘地区社会福祉協議会グラウンド・ゴルフ大会
12月07日(土)	富丘地区社会福祉協議会 三世代ウォーキング
2020年	
1月11日(土)	消防出初式
12日(日)	富丘第四中学校区成人式
4月12日(日)	中止：第56回富士宮市清掃運動（春の一斉清掃）

以上

令和元年度（2019年度）会計決算報告書

1. 区費会計（一般口）（2019年4月1日～2020年3月31日まで）

（1）収入の部

単位：円

項目	金額	摘要
前年度繰越金	3,197,493	普通預金 3,030,429円 現金 146,064円 商品券 21,000円
区費	1,068,200	延) 3,052 戸×350円
ゴミ集積所使用料	316,000	非会員使用料
敬老祝賀助成金	1,882	富丘地区合同敬老祝賀会余剰分配金 1,882 円
受取利息	22	農協利息 普通預金 22 円
商品券	17,000	敬老祝い商品券戻り 1,500円×11名・敬老会手伝い図書券戻り 500円×1名
雑収入	0	
移住・定住事業推進補助金	170,000	2019年6月 100,000円(富士宮市)・7月 70,000円(静岡県)
近鉄不動産立替金回収	0	
収入合計	4,770,597	

（2）支出の部

単位：円

項目	金額	摘要
水道光熱費	148,737	電気代 106,280円・ガス代 22,897円・水道代 19,560円
通信費	26,564	NHK受信料(年間) 24,770円・総務省電波利用料：900円・切手代
移住・定住事業費	198,107	インターネット接続料金：13ヶ月分 81,629円 ホームページ保守・管理費：12ヶ月分 116,478円
一斉清掃経費	7,000	軽トラゴミ回収代等お礼(商品券)
夏祭り助成金	378,417	夏祭り収支計算書の通り
敬老祝賀会費用	34,000	会場送迎バスチャーター代・敬老会手伝い図書券500円×4名
慶弔費	15,000	香典 1名分・リズムお祝い金 2件・
交際費	76,570	区長会費及び富丘祭り負担金等
会議費	35,889	役員会お茶代・その他
消耗品費	82,385	コピー機トナー代・コピー用紙・インク代・資料印刷代
備品費	27,014	区内看板設置費・事務用品・その他
手当	170,000	副区長、理事、会計手当
防犯灯維持管理費立替金	0	近鉄不動産へ立て替え
部会事業費	127,932	寄り合い処、Gゴルフ、バトミントンサークル 30,000円×3件=90,000円 子供と楽しく遊ぶ日:17,932円 KIS's英会話教室10,000円 スロトレ同好会10,000円
どんど焼き費用	26,029	餅・お菓子・反省会飲食代・木材搬入1,000円
修繕費	0	
雑費	30,939	公園歩道花壇整備費・振込手数料・その他
次年度繰越金	3,386,014	普通預金：3,242,069円 現金：120,945円 + 商品券23,000円 前年度繰越金額との比較：+188,521円
支出合計	4,770,597	

(繰越金内訳)

普通預金	3,242,069	円
現金	143,945	円
合計	3,386,014	円

令和元年度（2019年度）会館防災会計報告書

2. 会館・防災会計 (2019年4月1日～2020年3月31日まで)

(1) 収入の部

単位：円

項目	金額	摘要
前年度繰越金	10,271,588	普通預金 2,992,991円 定期預金 7,278,597円
区費	610,400	延) 3052 戸×200円
防災助成金	99,800	富士宮市役所 自主防災補助金
受取利息	642	農協普通預金 23円 農協定期預金 619円
区民館使用料	0	
雑収入	800	黄色いハンカチ代：400円×2軒
区民館整備事業補助金	381,000	区民館外壁塗装助成金
収入合計	11,364,230	

(2) 支出の部

単位：円

項目	金額	摘要
建物共済掛金	24,617	農協建物共済
会館修繕費	1,206,800	区民館外壁塗装代 1,144,800円 室外動力ブレイカー取り替え工事代 55,000円 区民館テレビ4台廃棄処分費 7,000円
会館備品費	103,929	書庫代・4L電気ポット・会計用パソコン・会計ソフト
消防第6分団負担金	300,000	2019年度分
防災訓練費	6,676	防災訓練資料コピー代
防災備品費	142,541	双口継ぎ手2本・ソーラーLED センサーライト・区管理防犯灯設置
防災消耗品費	27,225	防災機器燃料代・電池代
防災修繕費	10,270	チェーンソー替え刃。放水ポンプ修理代
防災雑費	18,360	消防団等のお礼・AED講師へのお茶代等
次年度繰越金	9,523,812	普通預金 2,244,596円 定期預金 7,279,216円 前年度繰越金額との比較： -747,776円
支出合計	11,364,230	

備忘録：2026年（平成38年9月18日）

建物共済満期返戻金有り：1,600,000円

(繰越金内訳)

普通預金	2,244,596円
定期預金	7,279,216円
合計	9,523,812円

上記のとおり決算報告致します。

2020年4月6日 区長 武井信夫
会計 上野保博

監査の結果、上記の報告に相違ないことを証します。

監事 高木達也
監事 志田啓江

令和元年度（2019年度）予算・実績対比表

（2019年4月1日～2020年3月31日まで）

1. 区費会計（一般口）

（1）収入の部

単位：円

項 目	2019年度予算	2019年度実績	摘 要
区 費	1,050,000	1,068,200	延) 3,052 戸×350円
ゴミ集積所使用料	330,000	316,000	非会員使用料
敬老祝賀助成金	0	1,882	富丘地区合同敬老祝賀会余剰分配金 1,882 円
受取利息	50	22	農協利息 普通預金 22 円
商品券	21,000	17,000	敬老祝い商品券戻り 1,500円×11名・敬老会手伝い図書券戻り 500円×1名
雑収入	10,000	0	
移住・定住事業推進補助金	100,000	170,000	2019年6月 100,000円(富士宮市)・7月 70,000円(静岡県)
近鉄不動産立替金回収	0	0	
前年度繰越金より補填	55,950	0	
収入合計	1,567,000	1,573,104	

（2）支出の部

単位：円

項 目	2019年度予算	2019年度実績	摘 要
水道光熱費	150,000	148,737	電気、水道、ガス料金の合計
通信費	26,000	26,564	NHK受信料(年間) 24,770円・総務省電波利用料：900円・切手代
移住・定住事業費	200,000	198,107	インターネット接続料金：13ヶ月分 81,629円 ホームページ保守・管理費：12ヶ月分 116,478円
一斉清掃経費	20,000	7,000	軽トラゴミ回収代等お礼(商品券)
夏祭り助成金	350,000	378,417	夏祭り収支計算書の通り
敬老祝賀会費用	35,000	34,000	会場送迎バスチャーター代・敬老会手伝い図書券500円×4名
慶弔費	40,000	15,000	香典 1名分・リズムお祝い金2件・
交際費	100,000	76,570	区長会会費及び富丘祭り負担金等
会議費	35,000	35,889	役員会お茶代・その他
消耗品費	60,000	82,385	コピー機トナー代・コピー用紙・インク代・資料印刷代
備品費	50,000	27,014	区内看板設置費・事務用品・その他
手当	170,000	170,000	副区長、理事、会計手当
防犯灯維持管理費立替金	50,000	0	近鉄不動産へ立て替え
部会事業費	150,000	127,932	寄り合い処、ゴルフ、バトミントンサークル 30,000円×3件=90,000円 子供と楽しく遊ぶ日:17,932円 KIS` s英会話教室10,000円 スロトレ同好会10,000円
どんど焼き費用	30,000	26,029	餅・お菓子・反省会飲食代・木材搬入1,000円
修繕費	20,000	0	
雑 費	10,000	30,939	公園歩道花壇整備費・振込手数料・その他
予備費	71,000	0	
剰余金	-	188,521	
支出合計	1,567,000	1,573,104	

令和元年度（2019年度）会館防災実績対比表

（2019年4月1日～2020年3月31日まで）

2. 会館・防災会計

（1）収入の部

単位：円

項目	2019年度予算	2019年度実績	摘要
区費	600,000	610,400	延) 3052 戸×200円
防災助成金	100,000	99,800	富士宮市役所 自主防災補助金
受取利息	700	642	農協普通預金 23円 農協定期預金 619 円
区民館使用料	0	0	
雑収入	500	800	黄色いハンカチ代：400円*2軒
区民館整備事業補助金	420,000	381,000	区民館外壁塗装助成金
前年度繰越金より補填	998,800	747,776	
収入合計	2,120,000	1,840,418	

（2）支出の部

単位：円

項目	2019年度予算	2019年度実績	摘要
建物共済掛金	25,000	24,617	農協建物共済
会館修繕費	1,400,000	1,206,800	区民館外壁塗装代 1,144,800円 室外動力プレイカー取り替え工事代 55,000円 区民館テレビ4台廃棄処分費 7,000円
会館備品費	150,000	103,929	書庫代・4L電気ポット・会計用パソコン・会計ソフト
消防第6分団負担金	300,000	300,000	2019年度分
防災訓練費	50,000	6,676	防災訓練資料コピー代
防災備品費	60,000	142,541	双口継ぎ手2本・ソーラーLED センサーライト・区管理防犯灯設置
防災消耗品費	30,000	27,225	防災機器燃料代・電池代
防災修繕費	50,000	10,270	チェーンソー替え刃。放水ポンプ修理代
防災雑費	5,000	18,360	消防団等のお礼・AED講師へのお茶代等
予備費	50,000	0	
剰余金	-	0	
支出合計	2,120,000	1,840,418	

令和元年度（2019年度）夏祭り会計報告書

収入の部	
項目	金額
① 祭り寄付金(協力金合計)	254,000
② 出店売上金	290,041
③ ご祝儀	10,000
④ (①+②+③) 収入合計	554,041

出店売上明細票		金額
② の 明 細	抽選会・おにぎりジュース引換	10,200
	綿菓子・ポップコーン	4,681
	焼きそば	82,400
	ヨーヨー・スーパーボールすくい	1,760
	フランクフルト・焼き鳥	78,800
	ビール・ラムネ・かき氷	97,300
	パン	14,900
	(出店売上合計)	290,041

⑤	区からの助成金	378,417
---	---------	---------

	(④+⑤) 収入合計	932,458
--	------------	---------

支出の部		
アトラクション 準備・景品代等		
1	抽選会・おにぎりジュース引換	211,730
	花火	45,978
	綱引き	24,929
	ビンゴ	41,488
	カラオケ	48,200
	輪投げ・スイカ割り	34,930
	(小計)	407,255
出店 準備・仕入れ金		
2	綿菓子・ポップコーン	37,484
	焼きそば	72,622
	ヨーヨー・スーパーボールすくい	31,842
	フランクフルト・焼き鳥	82,443
	ビール・ラムネ・かき氷	134,518
	パン	20,000
	流しそうめん	13,705
(小計))	392,614	
雑 費		
3	電気工事費	116,640
	やぐら・テント設営・盆踊り用 お茶代	15,949
	(小計))	132,589
	(1+2+3) 支出合計	932,458

区からの借入金精算	借入金(621,000円)-区助成金(378,417円)=区への戻入金(242,583円)
-----------	---

上記の通り、令和元年度夏祭りの会計報告を致します。

令和 元年 8月 31日

青木平区長 : 武井 信
夏祭り実行委員長 : 熊原 俊
夏祭り会計 : 永田 康

監査の結果、上記報告に相違ないことを証します。

令和 元年 8月 31日

夏祭り会計監査 : 高木 達也
夏祭り会計監査 : 志田 啓江

第 3 号議案

令和 2 年度(2020 年度) 事業計画及び収支予算

【令和 2 年度 (2020 年度) 事業計画】

青木平の将来ビジョン

= 20 年後もこんな青木平区であって欲しい =
自治会としての目指すべき方向性と活動指針

- ◆ 自然豊かで『きれいな住宅地！』住んでみたい地区でありたい。
- ◆ 若者が楽しく安心して暮らせる地区でありたい。
- ◆ 高齢者が生きいき、楽しく暮らせる地区でありたい。
- ◆ 助け合い、協力しあえる優しい人達の地区でありたい。

青木平区の生活環境は大きな節目を迎えつつあります。青木平が造成されてから 40 年近くが経過する中、住民の高齢化の進行と共に生活環境をはじめとするライフスタイルの変化が見受けられます。

このように時代の変化に応じて様々な新たな課題が見えてきます。自然豊かな青木平ライフを楽しむためにも、個人々がお互いに協力しあえる風土が大切です。自治会組織は『区民の、区民による、区民のための組織』であるならば、その主役は私たち区民一人ひとりであるはずで

す。

ここ数年、少しずつではありますが住民の意識変化がうかがえ、『きれいな青木平』、『住んでみたくなる青木平』創りに向けた取り組みの輪が広がっています。

自治会として掲げた中長期的な課題に対する取り組みを一層推進するために、令和 2 年度 (2020 年度) は下記の活動を重点に推進してまいります。

1. 移住・定住事業の推進と空き家対策について

1.1. 富士宮市地域政策推進室と連携した移住・定住の取り組み強化について

既に『第 1 号議案 令和元年度 (2019 年度) の事業報告』でお伝えしたとおり、この 1 年間で青木平に入居された世帯は 8 世帯です。転出世帯がある中、世帯数は微減に抑えて^{おさ}いることは大きな成果であり、取り組みの方向性は間違いのないものと判断できます。今後の取り組みを更に発展させるためには以下の二点を地道に取り組む意外に道はありません。

- (1) 青木平区のホームページを活用し、富士宮市地域政策推進室が積極的に行っている大都市圏を中心とした『移住・定住フェア』における富士宮市のプロモーション活動への積極的な情報提供、支援を行っていきます。
- (2) 多くの方は、^{さび}寂れた所に住みたいとは思いません。青木平へ移り住んでもらうためには、『きれいな青木平』『住んでみたくなる青木平』を住民一人ひとりが意識し、環境維持に向け行動することです。県外、区外から^{おとず}訪れた方々に良い印象を与え、青木平区へ移り住んでもらう取り組みの継続と、それを支える人の輪の広がりを作り上げていきましょう。

1.2. 空き家対策について

今後は住民の高齢化と相まって、様々な理由によって青木平から転出される方が増えてくるかもしれません。もし、転出せざるを得ない場合は、ご自宅の処分も合わせ考えて頂くことが大切です。移住・定住を推進する上で最も重要な事は、『住む家がある』『住める家がある』ということ。この件は、自治会が直接関与できる問題ではありませんが、年々増加傾向にある『空き家』を長期に放置しない対策の一環として、啓蒙活動として推進していきます。

また、富士宮市の地域政策推進室や都市計画課との連携を密にし、現在、空き家となっている物件や、利用頻度の少ない別荘に対し、『賃貸契約支援制度』、『空き家バンク制度』もしくは『支援窓口』の設置など、行政支援の方法を探っていきます。

1.3. 青木平区ホームページを活用した住民との情報共有について

2018年の6月に『青木平区自治会ホームページ』が開設され、早2年が経過しようとしています。開設から現在までのアクセス数は4万件を超え、自治会が開設するホームページでは異例のアクセス数となっています。

また、このホームページは富士宮市の紹介とともに、移住を検討されている人達への説明にも活用されています。実際にホームページを見て青木平に移住されて方もおり、一定の成果を上げているのも事実です。

今後、世の中は政府が推し進める『働き方改革』や人工知能（AI）を活用した労働環境へと益々シフトしていく事が考えられます。また、コンピュータとインターネット環境さえあれば働く場所を問わないプログラマーやIT関連で働く人の増加も考えられます。都会にも近く（東京・名古屋）、恵まれた自然環境の中で仕事をしたいと願う人もきっと居るはず。です。

そのためにも区、自らが積極的に情報発信をしていく事は極めて大切です。引き続き、最新情報の掲載を支える編集委員の活動を支援し、充実したホームページの作成を目指していきます。

2. 住民コミュニケーションの活性化推進について

青木平区自治会が地方自治法に基づく法人格を取得し、地縁団体として再出発をしてから早14年が経過しようとしています。少子高齢化時代の到来と共に、自治会組織の役割も

『区民の、区民による、区民のための組織』であることを改めて考えてみる時期に差し掛かっていると考えています。青木平で生活し、より良い居住環境を築いていくには、人任せにせず、主人公である私達ひとり一人ができる範囲で行動しなければ実現できません。青木平の居住環境を良くするのも、悪くするのも私達一人ひとりの行動と、その輪の大きさによって決まります。

お互いを尊重し、思いやる事で、円滑な住民同士のコミュニケーションや話し合いが可能となります。

発足から12年目を迎えた『寄り合い処』の取り組みや、健康維持のスポーツトレーニングなど通じたコミュニケーションの場が広がり、高齢化が進行する中、『お互いさま』の精神で、助け合い、支え合うことができる基盤が生まれています。このような活動を積極的に支援し、より良い青木平づくりを目指します。

2.1. 親子で楽しむ地区行事の創設について

夏休み期間中に行われる『子供と楽しく遊ぶ日』の取り組みは今年で3年目を迎えます。参加する子供達も増え、青木平区の行事として今年度も継続していきます。

更に夏休み期間を利用し、区民館の2階でお茶を飲みながら子供も大人も楽しめる『映画鑑賞会』等の開催の可能性を検討していきます。家庭でのテレビ視聴とはひと味違うものになればと考えています。

2.2. 夏休み ラジオ体操の開催について

子供の夏休み期間中、2週間を目処に中央公園でラジオ体操を実施します。朝の清々しい空気を吸い、子供達は無論のこと、^{ろうにやくなんによ}老若男女一堂に会して健康維持に努めましょう。

2.3. プレミアムフライデー懇親会の継続について

プレミアム・フライデー懇親会は住民同士の懇親の場として偶数月のプレミアムフライデーに開催され、2017年6月にスタートしてから、すでに4年目を迎えています。誰でも自由に参加でき、参加者各自が好きな飲み物と“おつまみ”や“お菓子”などを持参し、青木平について、家庭菜園や自慢の一品、子育て、趣味のお話などを通してお互いを知り、人と人とのつながりの輪を広げてきました。改めて住民コミュニケーション活性化の一助として位置づけ、継続していきます。

3. 相談ネットワークづくりと『認知症サポーター養成講座』の受講の推進について

高齢者にとって暮らしやすい青木平区にするためにも民生委員と自治会との連携が何よりも大切です。また、青木平区では周囲が自然な距離感でそっと見守る『近隣見守りサポート方式』を推進しています。ご近所同士のつながりはもとより、班内で情報を共有し、無理の無い範囲で『見守る』ことができれば高齢者の小さな変化や異変を察知することが可能となります。

一般的な傾向として、高齢者の方々は、まだまだ大丈夫と自分の力を過信していたり、他人に頼ることは迷惑をかけることと考えたり、多少困ったことがあっても相談しないケースが多くみられます。小さな変化や、異変に気づいた時は躊躇無く区ちゅうちよの役員や民生委員に相談できるネットワークづくりを目指します。

また、自治会役員（第2号議案に掲載された方々）を対象に今年度も富士宮市が推進している『認知症サポーター養成講座』を受講し、正しい基礎知識や具体的な接し方を学ぶと共に、お互いを支え合うことができる地区をめざします。

4. 減災環境づくりの推進と防災訓練の強化について

災害は地震に限らず、いつ何時起るかわかりません。昨年、千葉県に大きな被害をもたらした台風15号によるブラックアウト（広域停電）の発生はまだ記憶に新しく、日々の生活に大きな影響をもたらす事を改めて思い知る事となりました。

このことから、もし大規模地震が発生した場合、広域に渡りブラックアウトが発生する恐れが多分にあります。地震発生後の夜間における避難経路は真っ暗となり、足下の確認も難しい状況になることが考えられます。そこで、各ご家庭では懐中電灯を常備して頂くとともに、区民のみなさんに理解と協力をお願いし、LEDソーラーライトの設置を推奨いたします。少しでも道路を明るく照らす環境をめざしていきます。もし、このような環境が実現できれば防犯にも大きな効果をもたらす事が期待できます。

毎年行われる避難・防災訓練に加え、各ご家庭での水、食料の備蓄のお願いとともにLEDソーラーライトの設置を強く推奨し、減災環境作りを進めていきます。

また、2年越しの懸案事項となってしまいました『青木平区会員住民台帳』の再整備を行うため『青木平区 個人情報取り扱い基準』の施行を確実に進めていきます。

5. 定例班会議開催の推進（年4回：5月、8月、11月、2月）について

班会議は班員同士のコミュニケーションを図る大切な場であることは言うまでもありません。班内のコミュニケーションを円滑に進める上で大切なことは、出席者のお互いの配慮や気遣いです。また、話し合いの進め方にも工夫が必要となります。

人には得手不得手があり、考え方も一様ではありません。この違いを受入れることから円滑な話し合いが始まると考えます。出席者全員がお互いに協力し、① 防災について、② ゴミの出し方について、③ 見守り活動についてなど、身近な話題を取り上げ、話し合い、実のある班会議を作り上げていきましょう。

今年度も区長参加型の班会議を含め、年4回の定例班会議の開催を推進いたします

6. 2020 年度 主な行事予定

2020 年	4 月 26 日	(日)	2020 年度定例総会午後 2 時より 区民館・第 2 集積所周辺草刈り
	7 月 05 日	(日)	(執行部・2 町内役員担当)
	8 月 08 日	(土)	青木平夏祭り
	※8 月 16 日	(日)	* 第 5 回役員会・防災委員会 総合防災訓練事前説明会
	8 月 23 日	(日)	子供と楽しく遊ぶ日
	8 月 30 日	(日)	総合防災訓練 * 毎年 8 月の最終日曜日に市内一斉に行われる。
	9 月 19 日	(土)	富丘地区合同敬老祝賀会 * 富士宮市民文化会館 午後 1 時 30 分～15 時 45 分 (仮)
	9 月 26 日	(土)	『認知症サポーター養成講座』の受講
	10 月 04 日	(日)	青木平区一斉草刈り (定例行事) 夜間避難訓練 (役員および防災委員による)
	11 月 08 日	(日)	第 41 回 富丘まつり (地域代表・体育委員・保健委員・1 町内役員担当)
	11 月 15 日	(日)	第 41 回環自協『ごみ一掃作戦』(秋の一斉清掃)
	11 月 29 日	(日)	地域防災訓練事前説明会
	12 月 06 日	(日)	地域防災訓練
2021 年	1 月 10 日	(日)	どんど焼き+焼き芋大会 富士宮四中学区成人式
	2 月 07 日	(日)	第 4 回 青木平区 蔵巡りウォーキング
	※4 月 04 日	(日)	本部会計監査 * 第 13 回役員会
	4 月 11 日	(日)	第 57 回清掃運動 (春の一斉清掃) 令和 3 年度(2021 年度) 青木平区定例総会
	4 月 18 日	(日)	第 1 回役員会・防災委員会 退任役員慰労会・新役員歓迎会

7. その他区内の定例会議、行事予定

執行部定例会議	原則として毎月第 1 月曜日 19:00～21:00
	原則として毎月第 2 日曜日 19:00～21:00
役員会・防災委員定例会議	* 8 月は、8 月 16 日(日)に開催される。 * 令和 3 年 4 月は、4 月 4 日 (日) 開催される。
定例班会議	年 4 回 (5 月、8 月、11 月、2 月)
自主防災会専門部会会議	年 2 回開催は部会長が招集
防災機材メンテナンス操作	毎月 1 回の予定
中央公園清掃	毎月 1 回の予定 (青木平くらしのガイド p41)
寄り合い処	毎月 1 回の予定 (原則 30 日)
(その他の区外活動についてはスケジュール未定)	

令和 2 年度 (2020 年度) 収支予算案

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

1. 区費会計 (一般口)

(1) 収入の部

単位：円

項 目	2020年度予算	2019年度実績	摘 要
区 費	1,071,000	1,068,200	2020年度：255戸×12ヶ月×350円
ゴミ集積所使用料	310,000	316,000	非会員使用料
敬老祝賀助成金	0	1,882	富丘地区合同敬老祝賀会余剰分配金 1,882 円
受取利息	0	22	農協利息 普通預金 22 円
商品券	10,000	17,000	敬老祝い商品券戻り 1,500円×11名 敬老会手伝い図書券戻り 500円×1名
雑収入	5,000	0	
移住・定住事業推進補助金	130,000	170,000	2019年6月 100,000円(富士宮市) 7月 70,000円(静岡県)
近鉄不動産立替金回収	0	0	
前年度繰越金より補填	0	0	
収入合計	1,526,000	1,573,104	

(2) 支出の部

単位：円

項 目	2020年度予算	2019年度実績	摘 要
水道光熱費	150,000	148,737	電気、水道、ガス料金の合計
通信費	26,000	26,564	NHK受信料(年間) 24,770円・総務省電波利用料：900円・切手代
移住・定住事業費	200,000	198,107	インターネット接続料金：13ヶ月分 81,629円 ホームページ保守・管理費：12ヶ月分 116,478円
一斉清掃経費	20,000	7,000	軽トラゴミ回収代等お礼(商品券)
夏祭り助成金	350,000	378,417	夏祭り収支計算書の通り
敬老祝賀会費用	35,000	34,000	会場送迎バスチャーター代・敬老会手伝い図書券500円×4名
慶弔費	50,000	15,000	香典 1名分・リズムお祝い金2件・
交際費	100,000	76,570	区長会費及び富丘祭り負担金等
会議費	35,000	35,889	役員会お茶代・その他
消耗品費	50,000	82,385	コピー機トナー代・コピー用紙・インク代・資料印刷代
備品費	40,000	27,014	区内看板設置費・事務用品・その他
手当	170,000	170,000	副区長、理事、会計手当
防犯灯維持管理費立替金	50,000	0	近鉄不動産へ立て替え
部会事業費	150,000	127,932	寄り合い処、ゴルフ、バトミントンサークル 30,000円×3件=90,000円 子供と楽しく遊ぶ日：17,932円 KIS`s英会話教室：10,000円 スロトレ同好会：10,000円
どんど焼き費用	30,000	26,029	餅・お菓子・反省会飲食代・木材搬入1,000円
修繕費	20,000	0	
雑 費	20,000	30,939	公園歩道花壇整備費・振込手数料・その他
予備費	30,000	0	
剰余金	-	188,521	
支出合計	1,526,000	1,573,104	

令和 2 年度 (2020 年度) 収支予算案

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

1. 会館・防災会計

(1) 収入の部

単位：円

項 目	2020年度予算	2019年度実績	摘 要
区 費	612,000	610,400	延) 3052 戸×200円
防災助成金	101,000	99,800	富士宮市役所 自主防災補助金
受取利息	0	642	農協普通預金 23円 農協定期預金 619 円
区民館使用料	0	0	
雑収入	1,200	800	黄色いハンカチ代：400円×2軒
区民館整備事業補助金	0	381,000	区民館外壁塗装助成金
前年度繰越金より補填	0	747,776	
収入合計	714,200	1,840,418	

(2) 支出の部

単位：円

項 目	2020年度予算	2019年度実績	摘 要
建物共済掛金	25,000	24,617	農協建物共済
会館修繕費	0	1,206,800	2019年度 区民館外壁塗装代 1,144,800円 室外動力ブ レイカー取り替え工事代 55,000円 区民館テレビ4台廃棄処分費 7,000円
会館備品費	200,000	103,929	
消防第6分団負担金	300,000	300,000	
防災訓練費	30,000	6,676	防災訓練資料コピー代
防災備品費	60,000	142,541	
防災消耗品費	30,000	27,225	防災機器燃料代・電池代
防災修繕費	50,000	10,270	チェーンソー替え刃。放水ポンプ修理代
防災雑費	10,000	18,360	消防団等のお礼・AED講師へのお茶代等
予備費	9,200	0	
剰余金	0	0	
支出合計	714,200	1,840,418	

残高証明書

418-0048
静岡県富士宮市青木平503

青木平区 御中

富士宮農協
富丘支店
418-0047
静岡県富士宮市青木326-1

電話 0544-26-5171

残高証明書

青木平区 御中

作成日令和 2年 4月 1日

富士宮農業協同組合
富丘支店

下記金額については、令和 2年 3月 31日 現在における貴名義のお取引残高に
相違ないことを証明いたします。

1 ページ

種 類	口 座 番 号 等	残 高	備 考
普通貯金	0005739	¥3,242,069	
普通貯金	0054786	¥2,244,596	
定期貯金	12855566	¥7,279,216	
合 計		¥12,765,881	
		以下余白	

この証明書の金額は訂正いたしません。
当店との全貯金取引残高を表示しています。

(最終頁)

00000 2220708000000
ZJS-01002